

令和5年2月1日
新潟市立葛塚東小学校
校長 小林 久哉

2月 全校朝会 校長の話

今日から2月です。1月は「いく」、2月は「にげる」といって、あっという間に過ぎてしまうよといわれます。一日一日を大事に生活してくださいね。

先月は、いろいろな委員会がイベントを計画してくれました。それぞれの委員会で工夫して行うようにしてくれました。皆さんのいいアイデアがたくさん見ることができ、とってもよかったです。

みんなのために何かをすることとはとても大切なことです。これからも全校の皆さんが楽しめるものやためになるようなことを考えて、取り組んで行ってほしいと思っています。

また、全校であいさつを頑張っていました。みなさんのあいさつがよくなっています。あいさつは生活をしていく上で大切です。これからも続けてくださいね。

5年生が6年生を送る会の準備を進めています。今年も、感染症対策をおこなっての形にはなりますが、それぞれの学年がお世話になった6年生のために感謝をこめて取り組んでいます。

さて、6年生の皆さん、今年は、送られる番です。今、どんな気持ちですか。残り少ない小学校生活です。それこそ、一日一日が、みんな、小学校の思い出になります。5年生以下の皆さんに、しっかりと葛塚東小学校のよさを引き継いでいってください。

今日の全校朝会は、長なわに関係するお話しをします。よく聞いてください。

先月、体育の時間を使って全校で長なわ記録会を行いました。丁度、この前、6年生が記録会を行っている場面を見ることができました。その時に、その様子を見ながら、思い出したことがありました。

以前、私は、新潟市の万代児童センターで年に1回、縄跳びを子どもたちに教えていたことがあります。前回し跳びが上手になりたい、いろいろな跳び方を知りたい、

二重跳びができるようになりたい、等、いろいろな子どもたちが来ていました。1時間半の中で行う講座でしたが、最後の30分は長なわ跳びを行うことにしていました。1年生から6年生まで、いろいろな学年の子どもたちが集まっていたので、最初は、一緒にやることは大変でした。児童センターの職員さんやボランティアの大学生の皆さんとどうやったら上手くいくか考えました。そして行き着いたことは、「一緒に跳んでいる友だちのことを知る」ということでした。

何回も練習をしてくると、次のように考えることができるそうです。

- ・ 縄を回す人は、跳ぶ人がどんなタイミングで入ってくるか、跳び方はどうか等、分かってきます。

- ・ どんな順番にするとよいかを考えます。

つまり、長縄をすることで友だちのよさを知ることができるのだそうです。

そして、それらを踏まえて、記録会を行って、跳び終わった後、どうなると思いますか。

自然とみんなが拍手をするのだそうです。

6年生の記録会の時も終わった後、自然と拍手がおきました。素晴らしいことだと思います。

さて、今の学年で過ごすのもあと2ヶ月。もっともっとたくさん、友だちのよさを見付けることができると素晴らしいですね。

お話を終わります。